

「江南市汚水適正処理構想の見直し（案）」に関する
パブリックコメントの結果について

- (1) 意見の募集期間 令和2年10月12日（月） から
令和2年11月11日（水） まで
- (2) 意見を提出された方 1名
- (3) 意見の件数 3件
- (4) 意見の概要及び市の考え方
(※意見の概要につきましては、要約をしています。)

No. 1 【下水道の処理人口について】

意見の概要	<p>処理区域内人口について、「江南市下水道事業経営戦略（案）令和3年度～令和12年度」では、令和5年度の42,530人をピークに以降減少と見通されていますが、「江南市汚水適正処理構想の見直し（案）」では令和12年度の処理人口を53,490人として、令和5年度より1万人以上多く見積もられているのは何故でしょうか。</p> <p>※「江南市下水道事業経営戦略（案）令和3年度～令和12年度」については暫定版資料になります。</p>
市の考え方	<p>江南市汚水適正処理構想（案）では事業の採算性の観点から下水道と浄化槽のすみ分けを行う趣旨の計画であり、整備時期を調整中の区域についても幅広く計画に反映しております。</p> <p>一方、江南市下水道事業経営戦略（案）は今後の経営状況を見る計画のため、確実に整備を実施する区域の人口のみを見込んでいます。そのため、処理人口に差が生じております。</p>

No. 2 【下水道整備の基本方針について】

意見の概要	<p>下水道事業の経営安定化には、効率的な整備をしながら接続人口を増やすことが不可欠です。そのためには、市街化区域にこだわることなく、枝管 100m当たりの接続戸数が多く見込める区域を重点的、積極的に整備計画に含めるべきです。</p>
市の考え方	<p>下水道事業の経営安定化に向け、下水道の整備は市街化区域を原則とする基本方針を策定したところです。</p> <p>下水道事業の性質上、市街化調整区域のうち人口密度の高い区域を部分的に整備することは難しいですが、接続人口を増やすため、市街化区域に近接する市街化調整区域については、今後の高齢化や人口減少を踏まえたうえで、採算性、下水道整備ニーズ等を勘案して整備を検討することとしたことから、その可能性がある区域については今回計画区域としております。</p>

No. 3 【汚水処理の現状と課題について】

意見の概要	<p>「江南市汚水適正処理構想の見直し（案）」において、市街化区域の下水道整備および市街化調整区域での汚水処理施設への転換が遅れている現状に対して、遅れの原因が示されていませんが、原因分析を踏まえた合理的な汚水処理施設の整備を急いで頂きたいものです。</p>
市の考え方	<p>江南市の汚水処理人口普及率は、令和元年度末で79.5%となっており、愛知県平均 91.4%（名古屋市含む）と比較して低い状況です。この状況に関して、市の下水道事業への着手が遅かったことが原因の一つと考えております。近年は下水道整備区域の拡大を重点的に進めておりますが、下水道整備はコストや時間が多大に掛かります。そのため、合併処理浄化槽による整備へと見直しを図り、汚水処理施設の早期概成に努めます。</p>